

◆これだけは知っておこう◆

1 作文の書き方

- ① 文章の中心となる自分の意見や感想を考え、メモをする。
- ② ①の根拠（理由）となる具体例や自分の体験をあげ、メモをする。
- ③ ①と②をどう構成すればよいか考える。
- ④ 指示された条件を確認して、メモをもとに書き始める。

2 作文の条件

- ① 字数に関するもの
 - ② 段落に関するもの
 - ③ 内容に関するもの
- ※特に指示がなくても、原稿用紙の正しい使い方に従って書く。

身に付けると…

相手や目的に応じて、分かりやすい作文を書くことができます。

やってみよう 「解答と解説」

問 （A）に入る文章の解答例）

私は祖母と田中さんの言葉に考えさせられた。祖母や田中さんのように、昔の様子を知っている人たちにとって、この小川は大切な思い出のたくさんつまった場所なのだ。そして、今も変わらずに大切に思っている。そんな思い出の場所があることを知り、大切な場所を守りたいと思っっている人たちに接して、私は心が温かくなるのを感じた。私も自分の住む町を大切に思う気持ちをもち続けたいと思った。へー八四字

※この作文を書くためには、次の三点に注意しましょう。

①メモの内容を参考にして、花子さんが思ったことをまとめて書くこと。

②原稿用紙の正しい使い方
「原稿用紙の正しい使い方」
本文の書き出しは一字あける。
段落を改めるときは改行し、最初を一字あける。
会話文は、原則として行を変えて書く。
句読点やかっこなどの符号も一字として扱う。

例（句点）

と 言 っ て いた。

③百六十字以上、二百字以内で書くこと。
（このような条件の場合は、百八十字程度で書くのが適切です。）